

磐城時報

日七十月
石城郡石川村大字住吉十三番地
電話二二〇
印刷所 加納活版所
印刷部 加納活版所
發行所 磐城時報社
石城郡石川村大字住吉十三番地
電話二二〇
代金 一月五元 三月十元 半年二十元 一年四十元
廣告料 行内 行外 別表
▲日刊 (日曜、祭日) 休刊

あすから二日間 青訓生の秋期演習 歩兵第二十九聯隊の應援をうけ 壯絶極まる 夜間戦闘

石城郡下四十九ヶ青年訓練所四千餘名聯合秋期演習は北關東の陸軍特別大演習の終了を待つて十八日から二日間北四倉、大浦、草野、神谷の四ヶ町村を區域として行はれる。平第一小學校長後山聯合會長を統監に、警中教官大井川中佐及び警中の比佐庄司、遠藤の三氏並に平南校駒場大尉及び麻原氏を審判に小銃、輕機關銃六挺の外に若松歩兵二十九聯隊から若干の應援を受けて行はれる。

第一日は先づ午前九時統監部及び兩軍大隊長は四倉小學校に集合、諸般の打合せを行ひ午後四時北軍第一中隊は四倉、同第二中隊は大浦、南軍第一中隊は草野、第二中隊は

神谷の各部隊に就き同五時半から兩軍中隊對抗の夜間戦闘を決定、同七時休戦ラッパが暗夜に響く等、同夜は各小學校に宿營する。

第二日は午前五時五十分北軍は大浦村塩木部北端に、南軍は草野村小學校に集結、六時五十分北軍はその儘防禦を敷き、又南軍は中島附近に約半里に亘つて展開、同七時一齊に行動を開始し物凄き攻防戦を開始、同八時半白兵戦展開と同時に休戦ラッパが初冬の朝空高く鳴り響いて演習を終了、兩軍大浦小學校に集計千七十一名の多数に上つてゐる。之を縣内、縣外に分けると、縣内に働いてゐる女藝妓二四、娼妓五、酌婦三九、女給四一、女中、子守一九、女工一七、その他五一、計四六八。

△縣外
藝妓三九、娼妓三二、酌婦四八、女給四九、女中、子守一六六、女工二〇八、その他六二、計六〇二

で出稼先を見ると東京市内に居る者は女中、子守の百九名を筆頭に二百六十一名、神奈川縣は女工四十一名を最高に六十二名、茨城縣五十三名、群馬縣四十五名、埼玉縣三名、栃木縣四名、埼玉縣二名で、藝妓の最も多

情婦の餌食となり 南洋に賣られた女 四倉署で疑問を抱く

石城郡大野村大字白岩字北の作込僅か四日勤めて前借を踏倒し一生れ坑夫盧野貞次長女ふく(て逃走したので十四日抱主から二三)さんは去る九月十八日四倉署へ搜索願ひがあり、本籍女工四十一名を最高に六十二名、茨城縣五十三名、群馬縣四十五名、埼玉縣三名、栃木縣四名、埼玉縣二名で、藝妓の最も多

平管内の出稼女調 女工を筆頭に千七十名

平警察署では管内出稼女についての調査が、これによると總地の十八名、酌婦は茨城の十八名、女給は東京の二十四名、女工は東京の六十六名等である。

四倉署で
四倉警察署では最近地方米穀小賣商人が不正米を販賣するので防止のため營業人全部に對し米質検査を行つてゐる。

山間方に
石城郡入道野、三坂、箕輪、川前、四ヶ村から拂下げを申請した米合計四百九十俵は十七日に着配給されたが一俵七間内外であつた。

平町會 二十一日開催

平町會は二十一日午後一時開催の諸件を附議する。

- 一、寄附採納の件
- 一、町費附納の件
- 一、昭和九年度平町歳入追加更正豫算の件
- 一、平町市制執行調査會規定設立の件
- 一、平町度量衡取締規程制定の件
- 一、平町町是調査委員設置規程廢止の件
- 一、區長及區長代理推薦の件
- 一、昭和八年年度特別會計基本財産歳入歳出決算報告の件
- 一、退職教員慰勞金給與の件
- 一、收入役推薦の件
- 一、特別稅戶數制異議申立決定の件

九十六歳の高齢者 自動車に轢き殺さる

石城郡玉川村大字住吉十三番地大竹勉(三〇)は十六日午後三時頃無免許で豊岡村大字豊岡鈴木房次郎氏所有の貨物自動車を操縦し江名町に行き南町道路で同町庄司繁(九六)を轢き倒し重傷を負はせたので附近醫師が手當を施したが九十六歳といふ石城郡一番の男の高齡者の事として三分後に絶命した。大竹は平署で取調中である。

昭和入籍 排撃運動軟化

石城郡水産會では縣立水産試験場支部長會議を開き同郡の錦村に新設される昭和入籍會社工場から排出される有毒水が沿岸漁民を脅かすと、これが善後策を協議した結果會社側の有毒水浄化設備がどの程度に行はれるか不明であり、工場設立も認可になつてゐるのだからこの際徒らに反對する事を避けて會社當局の完全な浄化設備を要求する外なしといふに決し、設備要求に必要な参考資料を集めるために全國四十數ヶ所の工場所在地のうち山口、愛媛、愛知の三縣凶作地に對し救済の爲め塩鹼縣へ、植田、小名濱、四倉の三百貫目を寄附する事となり縣支部から一名づつ、の視察員を送會課にその手續きを依頼した。

米穀商取締 山間方に 濡米配給

凶作地に寄附 兵事事務視察

石城郡各濱の漁船は目下鮪漁のため金華山方面に出漁中であるが、十六日小名濱水産試験場に達した無電によると江名町福田丸は梶木鮪六十本を三崎港に十日水揚、清正丸も五十本を漁獲したが来月からは愈々びん長鮪漁に移る筈で今年は潮流の關係で鮪は相當豊漁を豫想されてゐる。

菅波末吉氏
石城郡各濱の漁船は目下鮪漁のため金華山方面に出漁中であるが、十六日小名濱水産試験場に達した無電によると江名町福田丸は梶木鮪六十本を三崎港に十日水揚、清正丸も五十本を漁獲したが来月からは愈々びん長鮪漁に移る筈で今年は潮流の關係で鮪は相當豊漁を豫想されてゐる。

夏井村で
石城郡夏井村字荒田目加藤松吉方に十六日午前三時頃賊忍入り枕下に置いた百七十圓入りの墓口を盗みさつたので平署で目下犯人探中。

農産物品評會
川前村では左記の日割により農産物品評會を開く。

- ▲十五日公會堂百五十八点
- ▲十六日桶賣校一六〇点
- ▲十八日小白井分校場一五〇点

江口忠一氏
平町二丁目八車力草野徳之助は六十一の老齡にも拘らず壯者を凌ぐ眞面目な働き振りに感心した平町搦小路江口忠一氏は今回荷車を買求めて與へたので近隣のものは感服してゐる。

四倉水産で 實習室

四倉實踐商業水産學校では五坪の水産實習室を設ける事となつたが、来る十九日午前九時より同町役場で工事入札を行ふこと。

四倉信用總會
四倉町信用組合總會は来る二十八日午後一時より同町小學校講堂に開く。

久濱消防檢閲
双葉郡久之濱消防組では十六日午後一時より新妻組頭宅に幹部會を開き協議の結果秋期檢閲を十二月上旬舉行する事に決定した。

本年の鮪漁 豐漁を豫想される

石城郡各濱の漁船は目下鮪漁のため金華山方面に出漁中であるが、十六日小名濱水産試験場に達した無電によると江名町福田丸は梶木鮪六十本を三崎港に十日水揚、清正丸も五十本を漁獲したが来月からは愈々びん長鮪漁に移る筈で今年は潮流の關係で鮪は相當豊漁を豫想されてゐる。

夏井村で 大金泥棒

石城郡夏井村字荒田目加藤松吉方に十六日午前三時頃賊忍入り枕下に置いた百七十圓入りの墓口を盗みさつたので平署で目下犯人探中。

兵事事務視察 菅波末吉氏

石城郡各濱の漁船は目下鮪漁のため金華山方面に出漁中であるが、十六日小名濱水産試験場に達した無電によると江名町福田丸は梶木鮪六十本を三崎港に十日水揚、清正丸も五十本を漁獲したが来月からは愈々びん長鮪漁に移る筈で今年は潮流の關係で鮪は相當豊漁を豫想されてゐる。

腸胃性病

内科 胃腸病科

花柳病科 性病科 泌尿器病科 皮膚病科 肛門病科

門專

院醫科 性胃村松
性病腸
(番七〇一電町南町平)

療

質物一般

營業時間 午後九時迄

三井質店

平町四丁目川岸通り
電話 六〇六番

磐城名物

北海屋の

もち餅

箱入二十錢より 平町二丁目
北海屋商店
電話三八八番

煮込おでん……………二十錢

おでん辨當……………二十錢

始めました。

出前迅速

三益

平町(電話三二二番)

吉田眼科病院

平町紺屋町(電話六八番)

電話買度し

大勝ラヂオ店

一、充實セルタクシ一部

一、高級大型団体遊覧車

一、乗合(豊間、江名、中之小名領直通 鎌倉岡御井線)

一、貨物一般運送

安齊外科醫院

電話 四七五

前 驛

和昭

電話 三三三 三四四 三〇三

自動車ノ御用ナラ
何デモ御仰セ付願
ヒマス

輪界に唯一ツ

鋼鐵製全廻轉部防水式
山口ノ自轉車

注油不要、堅牢經濟品ノ良イ値ノ安イ
(カタログ進呈)

代理店 **大高自轉車店**
平 橋

吸入用酸素 純度 99%

度量衡

モノサシ
マス
ハカリ

体温器
寒暖計

●寫真機
●秤ノ取締・錘系・修覆致シマス

關内藥局

電話四〇番

二葉印刷所

平町仲町・電話一九三番

トラツクの御用命は

四倉合同貨物自動車

電話四倉一〇二番

常備車十輛いつでも間に合ひます
四倉町仲町(寺町)

營業所 **新妻自動車部**

◎助手及事務員若干名至急人用

活きのよい 最優等の
味のよい

日本水産株式會社扱

凍魚賣出し

一本ルマノヒ

一鯛 各種 瀧三郡一手特約發賣元

一海老各種 平製氷海産部

一白魚 福島縣平町 電話(三二八番)(三二六番)

一刺身魚各種 平町代理店

一其ノ他品々 **ト印 伊藤魚問屋**
電話五二八番

毎度格別の御引立に預りまして難有御禮申上ます。

扱て燈下に親むの秋明るく經濟な

マツダランプ は(自十一月十五日)の期間中(至十二月卅一日)

一ヶ御買上毎にマツダ會聯盟名入の粗品を差上げることに致しました。

これは前にも申上げました通り再製不用品を安く販賣するものがありますので之等を區別して戴き度い心根で御座います。宜敷此の機に「マツダランプ」の眞價を御認め被下様併せて御願致します。

東京電機株式會社
マツダ會聯盟